

いわきの子

岩城小学校
学校便り
第59号
R4.12.23
文責：佐藤

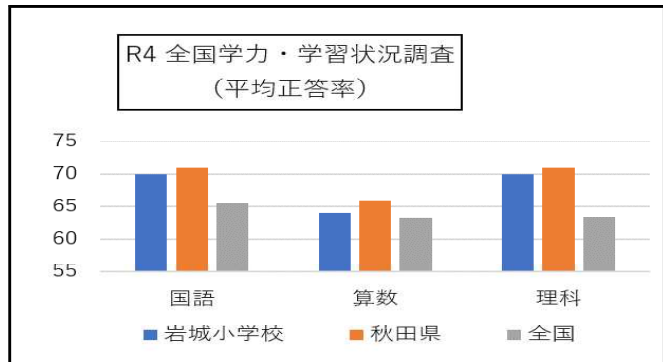
〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

全国学力・学習状況調査の結果より

今年度6年生が実施した全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせします。

【教科について】

正答率	国語	算数	理科
岩城小	70	64	70
秋田県	71	66	71
全国	65.6	63.2	63.3



- ・国語は県平均を1ポイント下回っている。漢字等の知識・技能は身に付いているが、「話すこと」「読むこと」に課題がある。
- ・算数は県平均を2ポイント下回っている。記述式問題の無答率が高く、極端に「図形」の問題に課題が見られる。
- ・理科は県平均を1ポイント下回っている。「生命」の正答率が高いが、観察・実験結果をグラフや表で示したり、資料から変化の特徴を読み取って言葉で表現したりすることに課題がある。

【質問紙について】

- ・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」(58.6%)「普段1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」(3時間以上しているが51.7%)
→県平均より思わしくない結果で、生活がゲームに支配されつつあるのではないかと心配です。ゲームは“やってはいけない！”ではなく、きちんと約束を作ってそれを守ることが大事だと思います。そこが崩れてしまうと全てに影響するのではないのでしょうか。「ゲーム障害」の3つの“ない”は、「寝ない・食べない・動かない」だそうです。冬休み前にも家庭で話題にしてみてください。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」(96.5%)「読書は好きですか。」(82.7%)
→県平均よりも高く、6年生には中学校へこのまま継続してほしいと思います。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか。」(79.3%)「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。」(69.0%)
→県平均よりも5%以上下回っています。目標に向かって挑戦する過程を支援し、学校でも家庭でもがんばりを認めていきたいものです。



これらの結果を踏まえて、回復を図ることができるように意識して授業を行い、同じ問題に触れて繰り返し指導も行っています。しかし、本校で育む資質・能力「表現する力」についてはまだまだ十分ではなく、低学年からの積み上げが必要だと考えています。

令和4年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和4年4月19日（火）に実施されました。

2 調査の内容

調査内容は、国語、算数・数学に加え、今年度は理科も実施され、3教科の調査となりました。学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査は、昨年度より小学校、中学校とも同一の質問数、質問事項となりましたが、今年度はICT機器活用についての質問事項が増え、活用場面毎のICT機器の使用頻度等について問う内容となっています。また、各校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査も実施されました。

3 秋田県と全国の比較（今年度も、県の平均正答率は整数値で発表されています）

〈小学6年 平均正答率(%)〉

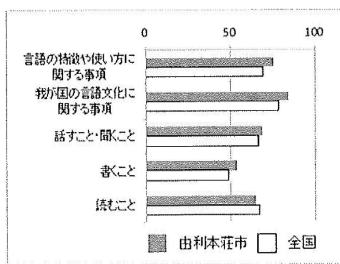
	国語	算数	理科
秋田県	71	66	71
全国	65.6	63.2	63.3

〈中学3年 平均正答率(%)〉

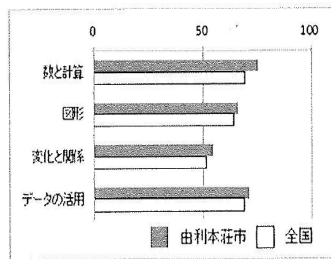
	国語	数学	理科
秋田県	73	54	52
全国	69.0	51.4	49.3

4 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

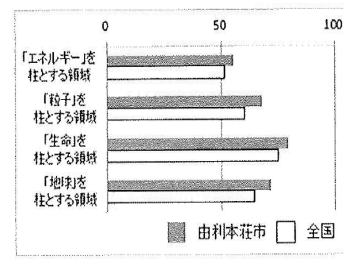
〈小学校国語〉



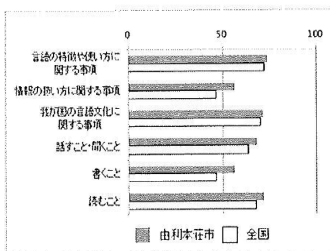
〈小学校算数〉



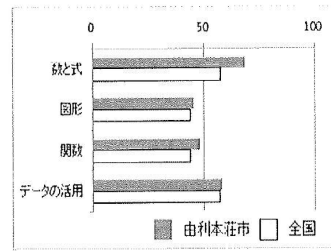
〈小学校理科〉



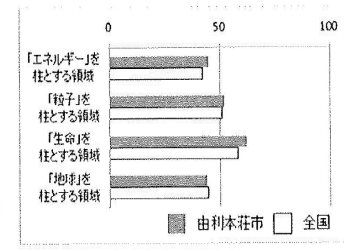
〈中学校国語〉



〈中学校数学〉



〈中学校理科〉



質問紙調査からは、「学習した内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答している割合が高く、授業や家庭学習で振り返りが行われている様子がうかがえます。その一方で、小中とも放課後や週末に家でテレビや動画を視聴したり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている割合が高く、家庭での過ごし方を見直す機会を設定する必要があると思われます。